

平成27年度事務事業評価シート		該当事業(評価対象外事業は基本情報のみ記載)		
		一般事務	公共建設事業	評価対象外事業
事務事業名	港南中学校改築補助事業			
予算科目	10 款 3 項 3 目			
総合計画での位置付け	教育・文化・スポレクの振興～うるおいと生きがいのひとつづくり～ 学校教育の充実			
所管課情報	担当課: 学校教育課		電話番号(内線): 733	
記入者情報	所属長: 靄岡 正直		担当責任者: 皆川 竜男	
実施期間	【開始年度】平成 21 年度 【開始年度】平成26年度			
事業の対象	港南中学校、市民(屋内運動場利用者)			
事業の必要性	S38年築で45年が経過し老朽化が著しいため、H21年度に耐力度調査を実施し、構造上危険な状態にある危険建物との調査結果により、安全性を確保するため施設の整備を図る。			
施工方法、場所	【施工方法】 請負	【施工場所】	伊予市米湊500-1	
運営方法	【運営方法】 直営	【運営費(予定)】		
事業の目的	安全で安心して過ごせる活動の場として学校施設の整備を図る。(屋内運動場)			
事業の内容	計画として、屋内運動場:鉄筋コンクリート造 2F・延べ床面積=3,500㎡程度、付属施設:部室棟(サブアリーナ)、プール:25m×8コース			
改善策の 具体的 取り組み (当初)				
改善策の 具体的 取り組み				

事業費及び財源内訳					
項目	26年度決算	27年度予算	9月末の執行状況	27年度決算	
事業費	直接事業費	265,136	4,148	0	0
	人件費	3,182	322	161	322
	合計	0	4,470	161	322
人件費 内訳	人工数	0.40	0.04	0.02	0.04
	人件費単価	7,954	8,042	8,042	8,042
	補助事業人件費	0	0	0	0
	人件費	3,181	321	160	321
財源内訳	国庫支出金	0	0	0	0
	県支出金	0	0	0	0
	地方債	249,500	0	0	0
	その他	14,000	0	0	0
	一般財源	4,818	4,470	161	322

実施スケジュール							
項目	26年度以前	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度	32年度以降
工損事後調査		4,148					
基本設計業務							
地質調査、実施設計業務等							
監理業務費	4,947						
建築工事	328,545						
年度別事業費	333,492	4,148					
財 源	国・県支出金						
	地方債	333,400					
	その他						
	一般財源	92	4,148				
国・県支出金等名称	学校施設環境改善交付金、過疎債						

成果指標				
成果指標	進捗率＝当該年度までの事業費÷全体の計画事業費×100			
指標設定の考え方	事業完了を100と設定し、全体計画に対する当該年度までの支出計の割合（進捗率）を指標とする。			
区分年度	26年度	27年度	28年度	目標26年度
目標	100	-	-	0
実績	-	-	-	-

自己評価				
自己評価 (担当責任者)	妥当性	目的の妥当性	3	C
		市民ニーズへの対応	3	
		市の関与の妥当性	3	
	有効性	事業の効果	3	C
		成果向上の可能性	3	
		施策への貢献度	3	
	効率性	手段の最適性	3	C
		コスト効率	3	
		受益者負担の適正	3	
課題認識	関連工事の工期が3月まで延長されたため、工損事後調査業務に着手できなくなったため、平成28年度へ繰越となり事業継続中。			

一次評価				
一次評価 (所属長)	妥当性	目的の妥当性	4	C
		市民ニーズへの対応	4	
		市の関与の妥当性	4	
	有効性	事業の効果	4	B
		成果向上の可能性	4	
		施策への貢献度	4	
	効率性	手段の最適性	4	B
		コスト効率	4	
		受益者負担の適正	4	
課題認識	教育活動には必要な事業であり、工損事後調査が繰越しとなったが、屋内運動場や部室棟は完成しており、事業廃止とする。			

二次評価	
二次評価 (所属部長)	事業廃止と判断し、行政評価委員会に諮る。
意見、課題	

行政評価委員会の答申

外部評価 (行政評価委員会)	
-------------------	--

経営者会議の最終判断

事業の方向性	事業の休止、廃止を検討する。
意見、課題	